

# オールジェンダートイレの新常識

## ～「しかく」トイレ～

仙台第三高等学校 F02班

### 背景

ジェンダー平等が世界で大きく話題になっている中、日本人の性についての偏見はなお根強く残っている。特にトイレに着目すると、女性トイレにあるものが男性トイレになかったりと男女の違いはトイレという「空間」全体に表れてしまい、性の差が明確になっている。



### 調査・実験の結果・考察

## しかくトイレ+α

しかくトイレ+αとは...?

**「資格」「視覚」「死角」の3つの意味を  
かけ合わせた新しい形のオールジェンダートイレ**



#### 〈空間の特徴〉

- ①空間全体を台形型に →解放感 混雑状況人目でわかる
- ②パウダールームの設置 →メイクや手洗いのみの使用可能
- ③死角をなくす →犯罪防止
- ④窓の設置 →サバンナ効果
- ⑤選択性のある個室 →ジェンダーに関わらず使用可能

### 研究内容・目的

#### ○アンケートの実施

→作成したモデルに対しての批判や要望、意見などをもとにモデルを改善し、誰もが納得でき、安心して使用できるトイレを生み出すため。

#### ○モデル作成

→アンケートを通して見つかった問題点を解決できるような新しいモデルを作成し、より現実可能なものにするため。

### 調査・実験方法

#### ①アンケート調査

作った模型をもとにこのトイレ空間を使いたいかのアンケートをとる。

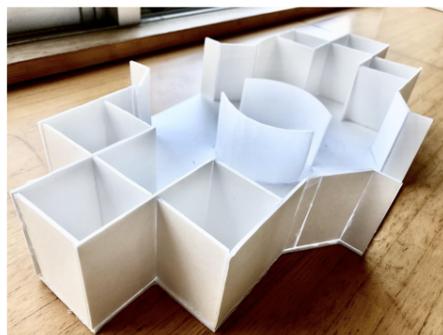
対象 三高生や保護者、県内の高校生など

内容 このトイレを利用したい、したくないと思う理由

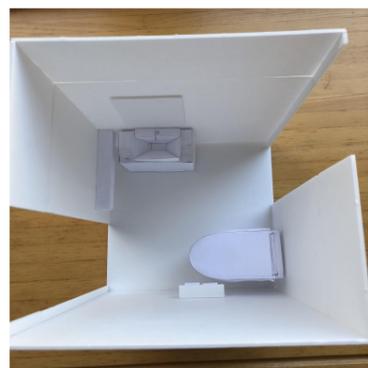
改善点 オールジェンダートイレの必要性など

方法 モデルとQRコードを昇降口に設置し、クラスルームで呼びかけ

外部発表で記入の呼びかけ



空間



個室



〈多目的なトイレ〉



〈ジェンダーフリートイレ〉

#### 〈個室の特徴〉

- ①扇形の個室 →死角をなくし犯罪防止
- ②おむつ交換台の設置 →役割分担の概念をなくす
- ③サニタリーボックス  
男性用トイレの設置 →選択の幅を広げる
- ④洗面台の設置 →人目を気にせず使用可能

#### ②新しいモデルの作成

第2回アンケートから得られた意見と、専門家の助言をもとに新しいモデルを作成する。

1 アンケート結果の分析

2 建築的観点から新しいモデルの図案作成

3 スチレンボードを用いて新たなモデルを作成

### まとめ・今後の展望

第1回、第2回アンケート調査でわかった制作したモデルに関する問題点を、今回新たに作成した「しかくトイレ+α」で解決した。また、前作以上に現実的なものにするため、入りやすくなるような工夫も凝らした。

今後は、私達の作成したモデルがより多くの人々の目に留まり、オールジェンダートイレの常識や差別や偏見を抱いていた方の意識を変えるきっかけになってほしいと思う。

### 参考文献

suumoジャーナル <https://suumo.jp/journal/2015/06/30/93037/>

\*1TOTO <https://jp.toto.co>

\*2 GIZMODO [https://www.gizmodo.jp/amp/2015/02/post\\_16573.html](https://www.gizmodo.jp/amp/2015/02/post_16573.html)

株式会社第一住設 <https://daiichi-jyusetu.co.jp/column/archives/4778>